たかひろが行く！

<2026年1月～2026年3月>

▲消防出初式<1月6日>

仙台市消防出初式に参加しました。消防団や仙台市消防職員、女性防火クラブなど関係団体の皆様方には、私たち仙台市民の安心安全を守っていただいていることに心から感謝をいたします。仙台市の指定無形民俗文化財にも指定されている、伝統階子乗りは今年も見事でした。空気が乾燥しており、火災が増えています。火の取り扱いにご留意いただくとともに、火事や災害の少ない1年になることを祈ります。

▲仙台市ポッチャ大会<1月31日~3月1日>

第4回仙台市長杯仙台市ポッチャ大会決勝大会に市障害者スポーツ協会の顧問として参加しました。開会式では、郡和子市長とともに敢闘賞と奨励賞のプレゼンターを務めさせていただきました。障害のあるなしに関わらず、子どもも大人も楽しめるスポーツが『ポッチャ』です。真剣な眼差しで、一球一球魂を込めて投球する姿は印象的でした。これからも仙台の地からポッチャをはじめとする障害者スポーツを盛り上げていきます！

▲各地で卒業式<3月>

春は出会いと別れのシーズンです。地元や出身校を中心に小・中・高・専門学校と卒業式に参列しています。学校という場所で友と出会い、ともに悩み葛藤し、挑戦し、乗り越えてきた経験は、これからの人生において大切な礎になるものです。進む道は別々かもしれませんが、これまでの経験を力に大きな一歩を踏み出してくれることを期待しています。若者が仙台の地で活躍できるよう私も頑張ります。これからの新たなステージに進む皆さんに幸多かれ！

▲東日本大震災から15年<3月11日>

令和8年3月11日14時46分。あの日から15年が経過しました。私は毎年、井土地区でこの日を迎えています。海楽寺のご住職が、井土地区で犠牲になられた36名の御霊への鎮魂を祈り、『勿忘(わすれな)の鐘』を36回心を込めて撞いておりました。記憶の風化と伝承の難しさ、それと同様に被災したエリアのコミュニティをどう繋いでいくのか。課題はたくさんありますが、今を生きていることに感謝し、被災地に寄り添っていきたいと思います。

現地現場主義！地域の諸課題に全力投球！

見通しの良い田んぼ道での事故を防ぐために県市連携！ 完了

昨年の9月に地元紙でも掲載された「農業園芸センター付近の見通しのよい田んぼ道での出合い頭の事故」が起きた現場の安全対策について、地域の方からご相談がありました。現場では農業用排水機械もあり、農繁期に事故があると修繕等も含めて10日以上農作業が遅れてしまうという声もいただいておりました。
高橋克也県議と連携し、止まれの規制を若林署に、農業用排水機を守ることと安全対策のためのガードレール設置を若林区道路課に依頼したところ、すぐに対応していただきそれぞれ設置と相成りました。

他にも地域の声をカタチにするため、順次取り組み中です！

トピックス 造園若林分会奉仕活動

顧問を務める宮城県造園建設業協会若林分会の皆様のご協力により、毎年選定作業を実施いただいています。
5回目の今回は、七郷市民センター、六郷市民センター、薬師堂駅前ロータリーの3箇所で実施しました。職人の皆さんの技により、鬱蒼としていた樹木がさっぱりしました！
今後も各地で実施して参ります！

実現しました！ 仙台ハーベストビレッジがフルオープンしました！

「近隣のスーパーがなくなり、本当に困っている」この間、六郷地区の皆様から切実な声をたくさんいただき、仙台ハーベストビレッジ内にスーパーを一刻も早く誘致するよう、令和7年2月の議会質問にて仙台市として積極的に関わることを訴えてきました。
ようやく、令和7年12月12日にみやぎ生協が、令和8年3月4日に無印良品がオープンし、フルオープンが実現しました。今後の六郷地区のまちづくりを考えるうえで重要な施設として、大きく期待をしています！

猪又たかひろプロフィール

昭和58年9月24日、栗原市生まれ。仙台市立若林小学校・八軒中学校を経て、仙台高校(吹奏楽部 部長)、東北学院大学卒業(高校社会科教員免許取得)。12年間の衆議院議員秘書(政策担当秘書)を経て、現在、仙台市議会議員(2期目)。
趣味は、マラソンと音楽。

【活 動】
- 広瀬川灯ろう流し実行委員会 顧問
- (公社)仙台青年会議所 OB会会員
- 宮城掃除に学ぶ会 世話人
- 保護司(若林区保護司会在籍)
- 交通指導隊(荒町地区分隊長)
- 仙台市地域防災リーダー(南材地区)
- 南材おやじ倶楽部 事務局長
- 八軒中学校同窓会 監事
- 仙台高校同窓会 副会長
- デジタル庁デジタル推進委員
- こどもまんなか応援サポーター

情報発信中です！

選挙ドットコム
猪又たかひろページ

仙台市議会議員 猪又 隆広 Start スタート
仙台市政報告書 vol.020
第20号
発行：猪又隆広事務所

〒984-0816
仙台市若林区河原町1丁目1-30-4
TEL.022-216-3351
FAX.022-216-3352
https://inotaka.info
takahiroinomata0924@gmail.com

令和8年度予算成立！皆さんの声が届き、誰もが挑戦できる「仙台」の実現へ！

仙台市議会議員 猪又 隆広

御挨拶

令和8年第1回定例会が3月12日に閉会しました。
過去最大規模の仙台市予算（一般会計7,306億円、特別会計3,378億円、企業会計2,720億円）が成立しました。
新年度は、仙台はじまりの地である青葉山エリアを起点とした「2036年プロジェクト」が本格的に始動します。それ以外にも、都心エリアの再構築事業の支援拡充や防災庁の誘致、市役所新庁舎整備、仙台若者会議(せんだいユースカウンシル)、観光MICE都市の実現、自動運転実証事業、小学校給食費の完全無償化、第2子以降の保育料無償化など、政策が大きく前に進む1年になります。それ以外に、これまでも私自身が取り組んできた、こどもの屋内遊び場施設整備や不登校支援の充実、放課後児童クラブの待機児童ゼロ、宮沢橋開通後のまちづくり、海浜エリアの活性化、仙台ハーベストビレッジのフルオープンをはじめ、さまざまな事業が形になった新年度予算となりました。
2期目も全ての議会で質問に登壇しております。現地調査やデータ分析を着実に行いながら、市民の皆様からの声や提案が、政策として形になるように常に取り組んでいます。引き続き、街頭に立ち、地域をまわり、皆様の声を形にできるよう、議会活動や政治活動に全力で取り組んでまいります。

市政あれこれ：令和8年度予算についてのトピックス！～新規・拡充事業～（3月31日現在）

新規 第2子以降の保育料無償化〈予算：9億1,958万円〉

仙台市は、**2026年9月から**多子カウント方法の年齢制限等を撤廃し、**第2子以降の保育料を所得制限なしで無償化**するとともに、**第3子以降の副食費免除等**を行う方針です。保育所・認定こども園のほか、認可外保育施設も対象となります。世帯内の年齢順に関わらず第2子以降が対象となり、住民税非課税世帯の0～2歳児や3～5歳児の無償化と合わせて子育て世帯の負担を軽減します。

拡充 こども医療費助成の拡充〈予算：10億6,573万円〉

令和8年4月より、対象を15歳から18歳到達年度末までに拡大するとともに、500円の利用者一部負担金が廃止になります。仙台市に住んでいる中学校3年生(15歳到達年度末)までのお子様で、勤務先の健康保険(各種社会保険、国保組合等)または仙台市国民健康保険に加入している方が対象になります。

■ 制度改正の内容について

令和8年4月から
- ○**対象年齢の上限が15歳 →18歳に引き上げられます。**
  - ※ 18歳になった日以後の最初の3月31日までが対象です。
- ○**18歳までのお子様は医療費が無料になります。**
  - ※ 健康保険適用外の受診など、助成対象とならない費用があります。

■ 子ども医療費助成制度について

制度の詳しい内容については、仙台市ホームページでご確認ください。

新規 難聴高齢者補聴器購入助成〈予算：3,598万円〉

高齢者の認知機能低下やフレイル等のリスクを低減し、健康寿命の延伸を図るため、補聴器購入に係る費用の一部を助成します。

■ 対象者
- ○**仙台市に住民登録がある65歳以上の方。**
- ○**両耳の聴力レベルがいずれも40デシベル以上70デシベル未満**

■ 助成額
- ○**市民税非課税世帯の方：上限 40,000円**
- ○**市民税課税世帯の方：上限 20,000円**

※補聴器購入費の2分の1以内で、1人1回限り

【その他の事項】
耳鼻科医の診断を受け、補聴器の使用が必要と認められた方(医師の意見書が必要)、市内の認定補聴器専門店又は認定補聴器技能者がいる補聴器販売店からの購入に限る（耳の状態に応じ、専門家の調整が必要なため)、集音器は対象外

拡充 大河ドラマ誘致〈予算：1,650万円〉

伊達政宗公の生涯を描く新たな大河ドラマの放送を目指し、機運醸成イベントの開催やHPのリニューアルが計上されています。2036年の大手門の復元に合わせた大河ドラマ誘致に取り組んでいます。
「百万石のお墨付き」にちなみ、「100万筆の署名」を目指しておりますので、ご協力をお願いします！

署名申請フォームはこちらから▶

仙台市議会 令和７年第４回定例会 一般質問

仙台都心再構築プロジェクトの要件緩和で投資促進を！

▶旧さくら野跡地の再開発白紙を受けて

Q：令和7年11月13日に突如、「ドン・キホーテ」を運営するパン・パシフィック・インターナショナルホールディングス（PPIH）からさくら野ビル跡地の再開発計画中止とする発表があった。今回の断念の報のあと、高橋副市長はPPIHを訪問し、代表取締役社長と面会したと聞いている。具体にどのような内容を議論し、少しでも再開発についての具体の言及はあったのか伺う。

A：先般、再開発の計画が白紙との報道や、建物解体に着手したタイミングをとらえ、新しく就任された森谷社長を訪問した。先方からは、仙台市の顔となる場所としての認識のもと、引き続き、本市と意見交換をしていきたいとの意向が示された。本市としても、他地権者と緊密に意見交換を進めるほか、解体後の早期の土地利用に向けた様々な提案を行うなど積極的に取組んでまいる。（高橋副市長）

Q：駅前再開発をはじめ、市内の様々な場所で本市の都心再構築プロジェクトに基づき再開発が計画されているが、建設費の高騰により、投資に対しての収益の見通しがつかないなどの理由から、今後も事業によっては再開発の断念や相当の遅れが出てくるものも想定される。私は、駅前の開発が進まないことで、都心全体への開発への投資意欲が減退していくことを強く懸念している。本市としても下支えをしっかりしていく必要があることから、投資しやすい環境づくりのために、都心再構築プロジェクトなどによる、もう一段上の取り組みの支援も検討すべきと考えるが、ご所見を伺う。

〈引用：令和7年12月11日 東北放送〉

A：本市では、都心の再構築に向けて、企業誘致の受け皿となる高機能オフィスの整備促進を進めてきた。しかし、全国的な物価高による工事費高騰により、特に、都市再開発法に基づく法定の再開発事業の採算性が厳しい状況にある。このような状況を踏まえ、再開発補助の要件の見直し、具体的にはアッパー（上限）を外し手元にいく補助金を多くするほか、学都仙台の強みを活かした企業誘致、また交流人口の拡大に向けた様々な観光施策と連動させた開発誘導施策について、他都市に負けないような制度設計を検討していきたい。（高橋副市長）

▲再開発計画中止となった旧さくら野跡

今回の一般質問で **実現しました！**

私の質問を機に検討を重ねて、今回の改正につながりました！

質問がメディアにも掲載されました！

再開発補助要件 拡充へ

引用：令和7年12月12日 河北新報朝刊

引用：令和7年12月12日 みやぎ建設新聞

②【市民センターのネットワーク環境等の整備】

▶市民センターのデジタル化推進を

Q：仙台市は現在60館の市民センターを設置し、公益財団法人仙台ひと・まち交流財団を指定管理者として地域の生涯学習や市民活動の拠点として運営している。一方で職場環境を見ると、職員5名に対して1人1台のPCが確保されておらず、あげくメール送受信が可能なPCが各館1台しかなく、必要に応じて印刷をして職員に回覧する非効率な事務処理となっている。また、LANが構築されていないことからUSBメモリの使用が常態化しており、事業ごとに数十個単位で保管される館もある。USBの紛失や情報流出の可能性もあることから、セキュリティ面でも重大な懸念がある。そもそも教育委員会が設置する回線と、財団が独自に設置した回線の2種類があり、それぞれ用途が異なっているが、これを1本化すれば非効率は相当解消されるはずである。市民センターは地域において重要な役割を担い、必要な行政サービスを提供しているので、ICT機器を含めハードは仙台市が責任をもって整備すべきである。その分、外郭団体にはソフトの充実に努めてもらう。こうした役割分担によってはじめて市民サービスの向上が実現すると考えるがいかがか。

A：現在、市民センターの情報機器やネットワークの整備については、指定管理者の運営全体として検討すべき部分もあるため、指定管理料により指定管理者が調達している。PCの台数については、1館あたり平均で4台を配備している。また、ネットワーク回線は、市民センターのホームページを更新するためのセキュリティの強い回線のほか、メールの送受信用の一般的な回線を使用しており、一本化するにはセキュリティ面からの課題がある。今後、指定管理者から使用状況などをさらに伺うとともに、クラウド環境の構築など情報基盤の改善も含め、より円滑な市民センターの運営につながる執務環境整備のため、本市の関係部局や指定管理者と意見交換を行いながら検討をしてまいりたい。（市長）

【その他の質疑の様子はこちらから】

今回の議会での様子や、これまでの議会での質疑などの様子はこちらの二次元コードからご覧いただけます。

- ●外国人との秩序ある共生社会の実現
- ●仙台ハーベストビレッジ移転後の沖野地区のまちづくり
- ●建設ディレクター資格取得支援

▲仙台市議会インターネット議会中継

トピックス

親子の対話で政治を考える in 杜の親子コーヒーハウス

仙台青年会議所の新入会員事業に参加し、『もし私が仙台市長だったら』をテーマに、未来の仙台を担うこどもたちと共にまちづくりを考えました。親子でまちづくりや政治を考えることは、郷土愛や市民としての誇りの醸成につながり、未来の一票を育てるきっかけ（主権者教育）になります！私もOBである仙台青年会議所が、政治や主権者教育を取り上げる事業に賛同します！

みなさまの「ちょっと、困ったな…」や「ここをこうして欲しい」などのご要望は、ぜひ、お気軽に猪又たかひろにご相談ください！

仙台市議会 令和８年第１回定例会 一般質問

コスト増による財源の明確化と市民理解の徹底を！

▶音楽ホール・中心部震災メモリアル拠点複合施設

Q：新しく建設される複合施設については、仙台の都市個性や将来のホール需要も検討したうえで必要と考えているが、市民意識調査で49.3%の認知度、また市民との対話が十分進んでいない点は反省すべきである。また、事業費についても今後の増加が見込まれる中、それだけの投資に見合った価値をどのように生み出すのか、建設費の623億円のうち市債発行476億円がどのように縮減されるのか財源確保のメニューをしっかりと示すべきだ。

A：本施設が目指す災害文化と文化芸術の融合、これはまさに本市のアイデンティティを象徴するもの。仙台はじまりの地である青葉山に整備し、ここでしか生み出し得ない新たな文化を世界に、そして未来へ発信していくことは、本市の都市としての価値を飛躍的に高めるものと確信している。様々な手法を駆使しながら戦略的な広報を展開するとともに対話の機会を重ねて、着実に整備を進めてまいりたい。（市長）

A：複合施設については、良し悪しも含めて市民の皆様と考えていく必要がある。批判も受け止めたうえで、詳細設計に進む段階で入れられるものがあれば受け止めていきたい。（副市長）

A：市債476億円のうち、約2割にあたる110億円程度は、地方交付税措置のある地方債を活用する予定。その後に発生する償還金に対しては、40億円程度の国からの財政措置があると見込まれている。今後、企業版ふるさと納税など外部資金の確保に取り組むとともに、活用可能な国の財源をしっかりと獲得していく。（建設局長）

質問がメディアにも掲載されました！

市民意識調査で認知度49.3%

引用：令和8年2月19日 河北新報朝刊

引用：令和8年2月19日 みやぎ建設新聞朝刊

今定例会の予算等審査特別委員会で丁寧に進めるよう附帯意見が付されました。

仙台市議会 令和８年第１回 予算等審査特別委員会

①【不登校児童生徒を適切な支援につなげるため、総合電話窓口の設置を】

Q：本市の学校に通えない子どもたちは3,199名いる。不登校に関する相談窓口は仙台市教育支援センターが担っている。ただ、教育支援センターは通所としての認知はあるが、相談窓口だという認識を持つ保護者は、私が話した中では皆無だった。これまで相談は何件あったのか。また、子どもたちが適切な支援に繋がれるように、保護者がたらいまわしにされて疲弊しないための、ワンストップ総合電話窓口を設置すべきと考えるがいかがか。

A：これまでの相談件数は311件。本市の不登校児の数をみると、教育支援センターが不登校に関する相談窓口であるとの周知は十分とはいいがたい。今後、学校とは別の立場から、安心して相談できることを示したFAQの掲載や保護者向け連絡アプリを活用し、教育委員会から保護者に対し直接周知を図っていきたい。専用ダイヤルの設置についてもしっかりと取り組んでまいる。（教育局）

実現しました！

不登校児童生徒定期健康診断予算可決！

学校に通えていない本市のこどもたちの成長を家庭と共に応援するため、学校外で健康診断が無償で受けられるよう、新年度の予算に不登校児童生徒定期健康診断の費用として406万円が計上されました。

実現しました！

メディアにも掲載されました！

不登校 電話相談開設へ

引用：令和8年3月5日 河北新報朝刊

②【交通指導隊員の担い手確保】

Q：交通指導隊員は今後10年間で296名が定年退職する。30代～50代の若い隊員を確保しなければ持続可能な制度維持は難しい。今後、経済局とも連携しながら、フレックス制を導入する企業などへの周知や、インセンティブの付与も検討すべきだ。また、75歳定年となっているが、元気な方は非常に多い。1年ごとの更新など、条件付きの定年延長も検討すべきではないか。

A：75歳以降のさらなる定年延長は現段階で考えてはいないが、民間企業にお勤めの方に対しても関係局と連携し、入隊してもらえるよう周知に取り組みたい。（市民局）

③【下水・水のトラブル時の行政への問い合わせ先】

トイレが詰まったりする下水のトラブルは依然多い。中には悪用し、「レスキュー商法」のように利用者に高額な請求をする事業者もいる。上水道に関しては、24時間365日連絡ができる緊急窓口があるのに、対して現状は下水は住んでいる区で問い合わせ先が違っている。総合的な窓口を創設すべきではないか。

▼現状の下水が詰まったときの問い合わせ先

お住まいの区	平日（8時30分～17時15分）		平日時間外・土日祝日
青葉区・泉区	下水道北管理センター	☎022-373-0902	市役所本庁舎守衛室 ☎022-261-1111
宮城野区・太白区	下水道南管理センター	☎022-373-0902	
若林区	若林下水道サービスセンター ☎022-746-5062		

【その他の質疑の様子はこちらから】

- ●保護司への本市の関わりと支援
- ●外国人の国民健康保険の収納率低下
- ●部活動の地域展開のこれから

各議案次号掲載予定

▲仙台市議会インターネット議会中継